

次号予告

2013年5月号

特集

こんなやり方もあったんだ! “夢”を叶える起業・経営

在宅医療・ケアの需要が高まるにつれ、訪問看護事業起業への期待が寄せられています。しかし、経営の安定なしには、「質の高いケア」を継続的に提供することは困難です。日々の経営の視点と、制度の枠にとらわれない取り組みとで、経営の安定を実現しているステーションを取り上げ、その秘訣を教えていただきます。

経営の安定を基盤とした“新たな挑戦”

●木村憲洋

【実践報告①～④】

①「保険適用外24時間サービス」の成功例

●森元陽子

②保険制度の枠組み超えた先にある夢

●高丸慶

③好循環を生む「待遇」の実現

●川田由美

④“利用者が主役”を徹底する 「ヘルパー指名サービス」の成果

●柳本文貴

【インタビュー】

訪問看護ステーション起業のすゝめ

●坂本すが

特別記事

訪問看護ビジネスとは何か?

●青木正人

INTERVIEW ケアする人々

繁澤弘子さん×太田栄枝子さん×鈴木道子さん

(有限会社耕グループ「くわのみ」)

編集後記

JSPEN(静脈経腸栄養学会)をはじめ、立て続けに「胃ろう」関連の取材をしました。「あなたは胃ろうをしますか?しませんか?」。そう問われると、ある会場では、男性(医師が多いと思われる)は「する」、対照的に女性(看護師が多いと思われる)は「しない」に挙手する傾向に意味深なものを感じました。胃ろうケアの質向上や倫理的課題が盛んに議論されるとともに、共通して問題視されたのはマスコミ報道による胃ろうへの「誤解」。胃ろうを回避し、あえて経鼻胃管を選ぶケースが増えているとも。本人の苦痛も介護の負担も大きい経鼻胃管が胃ろうに取って代わるというのはあまりに本末転倒です。そんな苦境が、特集・大澤さんの原稿からも垣間見えます。「胃ろう」をテーマとする懸賞論文のメ切が間近です。駆け込み応募お待ちしております。…杉本

いま、体幹トレーニングがブームです。サッカー日本代表の長友選手が取り入れていることで話題となり、関連書籍もたくさん発行されています。体幹トレーニングでは、深い部分にある筋肉を鍛えることで体の軸が安定し、競技力の向上が期待でき、腰痛予防の効果もあるようです。最近弊社でも、毎朝始業前に有志で実践しており、始めて1か月足らずですが、サッカーの競技中など少しずつ効果を実感しています。さて、本号の巻頭インタビューでは、そうした手法とは全く違う角度から腰痛へアプローチする、松平浩先生にお話をうかがいました。「腰痛の原因の1つは、ストレスからくる身体化徴候」というお話は、まさに目からウロコ。「腰痛持ち」の方は必見の内容です。僕もストレスを溜めない生活を目指すべく、山下達郎を聴きはじめました。…多淵

訪問看護と介護 第18巻 第4号(通巻202号) 2013年4月15日発行(毎月1回15日発行)

発行:株式会社医学書院 代表者:金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2013, Printed in Japan

1部定価:1,365円(本体1,300円+税5%) 年間購読料(税込,送料弊社負担,年間12冊):13,200円(冊子版)/

16,200円(冊子+電子版/個人)/18,200円(冊子+電子版/共有)/13,200円(電子版/個人)/15,200円(電子版/共有)

販売部:☎03-3817-5659 社内案内:☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室:☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当:多淵・杉本・伊藤

✉houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter http://www.twitter.com/houmonkango

医学書院ホームページ http://www.igaku-shoin.co.jp/ ウェブマガジン「かんかん!」 http://www.igs-kankan.com

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写,スキャン,デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。

大学,病院,診療所,企業などにおいて,業務上使用する目的(診療,研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは,その使用範囲が内部的であっても,私的使用には該当せず,違法です。また私的使用に該当する場合であっても,代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】(社)出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は,そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構

(☎03-3513-6969, FAX03-3513-6979, ✉info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。